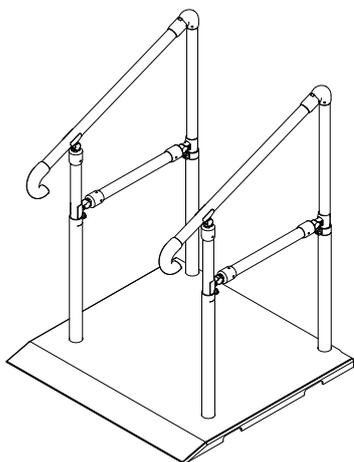
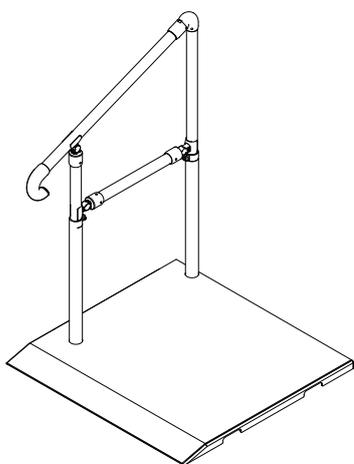


たちあっぷ[®]540

品番：CKH-01・CKH-02



CKH-01



CKH-02

目次

！安全に関する表示	2
1. 仕様	2
2. 使用上のご注意	3
3. ご使用方法	4
4. 設置上のご注意	4
5. 構成表	5
6. 各種部品表	5
7. 組立手順	5
8. お手入れ方法	12

ご購入ありがとうございます

販売店様：この取扱説明書は必ずお客様に説明してからお渡しください。

ご利用者様：使用前にこの取扱説明書を必ずお読みになり大切に保管してください。

！安全に関する表示

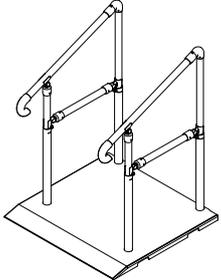
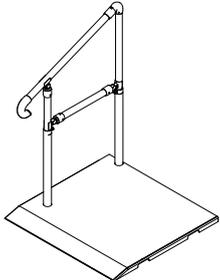
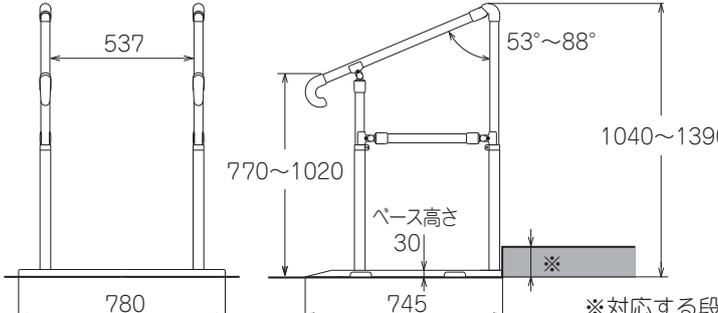
※いずれも安全に関する内容ですので必ず守ってください。

 警告	誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。
 注意	誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。

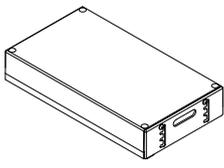
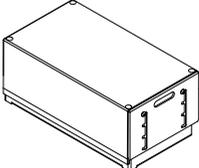
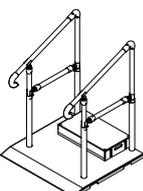
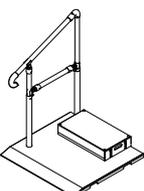
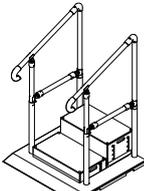
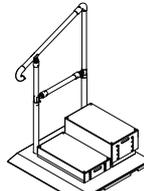
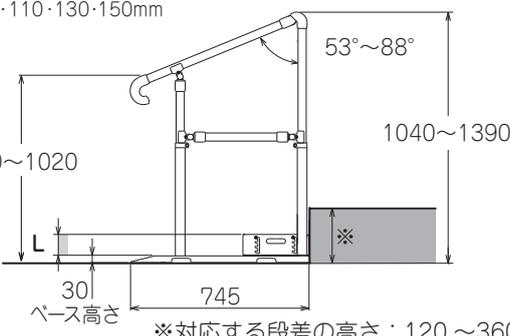
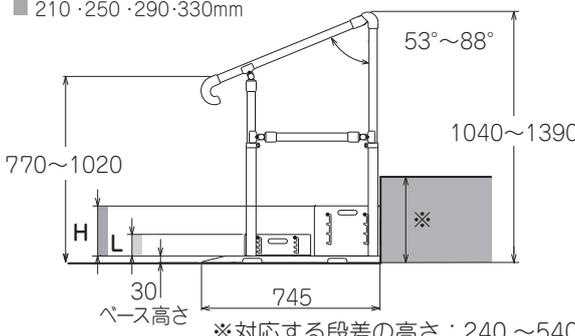
 禁止	してはいけない内容です。
 必ず守る	必ず守っていただく内容です。

1.仕様

● 本体

製品図		
	CKH-01	CKH-02
品番	MGR (メタリックグレー)	
カラー		
質量	34.7kg	28.6kg
使用者体重	100kg以下	
サイズ	 <p>(単位:mm)</p> <p>※対応する段差の高さ：30～180</p>	

● ステップ台 (オプション)

製品図		
	CKH-BL	CKH-BH
品番	間口 500 × 奥行き 275 × 高さ 120 ~ 180mm (床から)	
サイズ		
質量	6.0kg	9.6kg
取付例	 	 
サイズ (本体取付時)	<p>ステップ台は4段階の高さ調整可能 (単位:mm)</p> <p>L ステップ台高さ 90・110・130・150mm</p>  <p>※対応する段差の高さ：120～360</p>	<p>ステップ台は4段階の高さ調整可能 (単位:mm)</p> <p>H ステップ台高さ 210・250・290・330mm</p>  <p>※対応する段差の高さ：240～540</p>

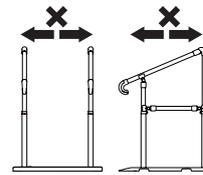
2. 使用上のご注意

警告

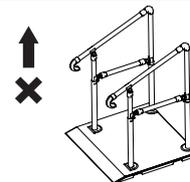
- 手すり以外の用途では使用しない。

- 水平方向に力を加えない。

手すりに力をかけた際に、ベースが持ち上がり床面とのすき間が発生するような使用はしないでください。
手すりを持ち床面に向かって押さえつける方向に力をかけてください。

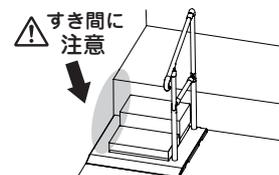


- 手すり引抜き方向に力をかけない。



- CKH-02(片手すり型)を使用する際、手すりのない側への落下に十分注意する。

片手すり型を壁側に取り付ける場合は、ステップ台と壁との間にできるすき間(右図グレー部)に足を挟まないように十分に注意してご使用ください。



- 子供を遊ばせるなど遊具として使用しない。

事故のおそれがあります。ぶら下がったり手すりの上に乗ったりしないでください。

- 車いすからの立ち上がりには使用しない。

移乗の際に転倒するおそれがあります。

- 手すりに頭や手、脚を入れない。

窒息や骨折のおそれがあります。

- 予測できない行動をとる・自力で危険な状態から回避することができない利用者は使用しない。

利用者の心身の状態や利用環境により、手すりのすき間に身体の一部を入れる可能性があり、場合によっては生命に関わる重大事故につながるおそれがあります。予測できない行動をとられる利用者(認知症など)や、自力で危険な状態から回避することができない利用者(認知症など)につきましては、ご使用を控えてください。

- 利用者の健康状態や体調をよく確認し、介護者が付き添うなど安全には十分な配慮をする。

お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談してください。

- 利用者の健康状態や体調が変化した場合は直ちに使用をやめる。

ご使用を再開される場合は医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談してください。

- 固定式でないため設置後の安定性、利用者の状況をご確認の上使用する。

注意

- 2人以上同時に使用しない。

本製品は1人用です。

- 利用者の身体状況により、ステップ台の使用を検討する。

「たちあっぷ540」にはオプションとしてステップ台の取り付けが可能です。
利用者の使い易さと安全を考慮して、段差に合わせたステップ台の設置をご検討ください。

- 濡れた手、脚、靴底で使用する場合は、滑りやすいので注意する。

滑って転倒するおそれがあります。

- ベースやステップ台、手すりが濡れた状態で使用する場合は滑りやすいため注意する。

ベースやステップ台に敷いてあるマットは濡れると滑りやすくなりますのでご注意ください。

- ベースには厚みがあるため、すり足など使用上支障のある方は注意する。

- マットの上に砂利、雪などがいない状態で使用する。

 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● ご使用中にマットにたるみができただけの場合は手で押さえて平らに伸ばしてから使用する。 つまずいて転倒の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● ベース・ステップ台は必ずマットを取り付けて使用する。 マットを使用しないと、滑ったりつまずいて転倒の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動させる場合は、ベース、もしくはスタンド部を持って移動させる。 手すりを持ちますと締め付けねじがゆるんでいた場合、ベースが落下するおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用環境・使用状況によっては錆が発生するおそれがあるので注意する。 錆びにくい素材を使用していますが、塩害地などの使用環境または使用状況によっては錆が発生するおそれがあるのでご注意ください。

3. ご使用方法

例：CKH-01
ステップ台 1 段仕様

- 両手すりの場合、両手で両側の手すりをそれぞれ握って昇降してください。



例：CKH-02
ステップ台 1 段仕様

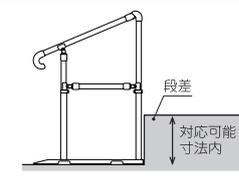
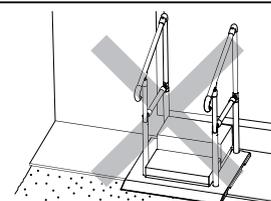
- 片手すりの場合、手すり側に身体を向け、両手で握って昇降してください。



4. 設置上のご注意

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 弊社製品と他社製品を組み合わせない。 破損やケガの原因になります。また、他社製品と組み合わせた製作物の安全は保証できません。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 改造・加工は絶対に行わない。 事故の原因になります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 平らでしっかりとした丈夫な地面に設置する。 斜面や砂利・土などの不安定な地面に設置すると、ガタつきが発生し、事故やケガの原因になります。 また、屋外でご使用の際、犬走りからベースの一部がはみ出す場合は、市販のコンクリート板などで設置面を補修し、安定した状態で設置してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 対応可能範囲内の高さの段差に取り付ける。 対応可能範囲外で使用すると、事故のおそれがあります。 P.2の「対応する段差の高さ」をご確認ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● ステップ台 CKH-BH は、必ず CKH-BL と組み合わせてベースに取り付ける。 ステップ台 CKH-BH は、最低高さでも 240 mm となり、安全な昇降が困難になります。 CKH-BH を 1 台のみでは使用しないでください。

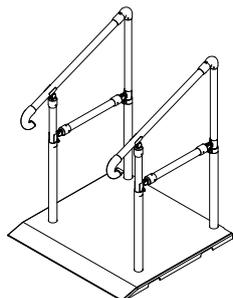


注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定締め付トルク値以上で締め付けない。 破損するおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電動工具（電動ドライバー等）を使用しない。 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。 (ねじの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 火のそばでは使用しない。 金属部分が熱くなりやけどの原因になります。変質・軟化・変形または破損をするおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 常時、水につかる場所には設置しない。 錆び、変質のおそれがあります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 組み立て、高さ調整は納入業者の方に行なっていただく。
	<ul style="list-style-type: none"> ● ベースは重いので注意する。 ベースは 20kg 以上の重量物です。取り扱いには十分注意してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期的にガタつき、ねじのゆるみ、締め忘れ、部品の破損がないことを確認する。 ● 日光が当たり金属部が熱くなる可能性があるため注意する。

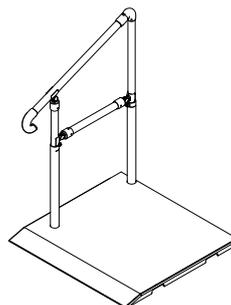
5. 構成表

※部品が揃っていない、または破損している場合は直ちにお買い上げの販売店へご連絡ください。



CKH-01

名称	数量
手すりフレーム	2
540 ベース	1



CKH-02

名称	数量
手すりフレーム	1
540 ベース	1

6. 各種部品表

名称	部品図	部品	材質	数量
540 ベース		ベース本体 (マット付き)	ステンレス、樹脂 (マット)	1
		六角レンチ (対辺 5mm)	鉄	1
		アジャスター (φ 40-M 10 × 28)	ステンレス、ゴム	2
		取扱説明書	紙	1
手すりフレーム		手すりフレーム A 本体	パイプ: ステンレス ブラケット: アルミ、樹脂	1
		スタンド	ステンレス	2
		六角穴付きボルト (M6 × 12mm)	鉄	2
		六角穴付き皿ボルト (M8 × 18mm)	ステンレス	6
540H ステップ台		箱部 (マット付き)	ステンレス、樹脂 (マット)	1
		基部	ステンレス	1
		なべ組ねじ (M5 × 12mm)	ステンレス	4
		六角穴付きボタンボルト (M6 × 12mm)	ステンレス	4
540L ステップ台		箱部 (マット付き)	ステンレス、樹脂 (マット)	1
		基部	ステンレス	1
		なべ組ねじ (M5 × 12mm)	ステンレス	4
		六角穴付きボタンボルト (M6 × 12mm)	ステンレス	4

7. 組立手順

1. スタンドの取付け

ベースにスタンドを取り付けます。
六角穴付き皿ボルト (M8 × 18) を六角レンチ (対辺 5mm) で締め付けてください。
締め付けトルクは $12.5\text{N} \cdot \text{m}$ [128kgf · cm] です。

⚠ 注意

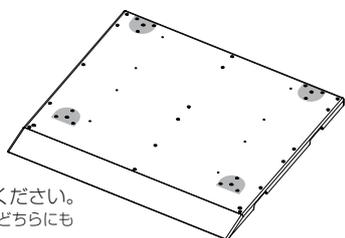
禁止

● **電動工具 (電動ドライバー等) を使用しない。**
過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。(ねじの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。)

必ず守る

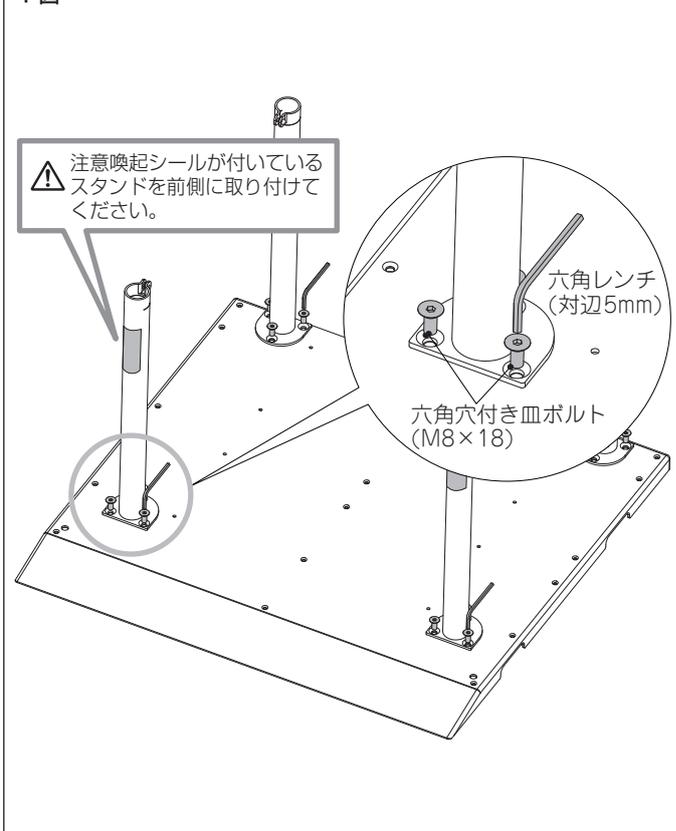
● **締め付け部を内側に向ける。**

スタンド取付位置



CKH-01 は 4 本
CKH-02 は 2 本取り付けてください。
(CKH-02 の場合、スタンドは左右どちらにも取り付けが可能です。)

1 図



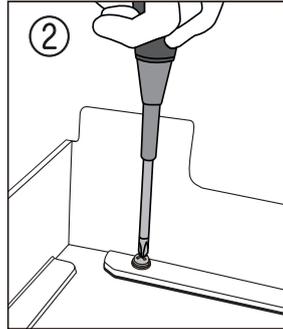
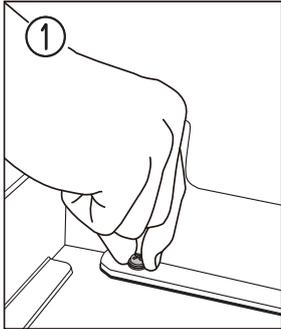
2 はステップ台を取り付ける場合です。ステップ台を取り付けない場合は 3 からご確認ください。

2. ステップ台の取付け

2-1 図のように基部を置き、⊕ドライバーでなべ組ねじ (M5×12) を 4 箇所締め付けてください。
(ステップ台を2段で使用する場合は 8 箇所です。)
締め付けトルクは $3.0\text{N}\cdot\text{m}$ {30.6kgf·cm} です。

ねじの締め付け方法

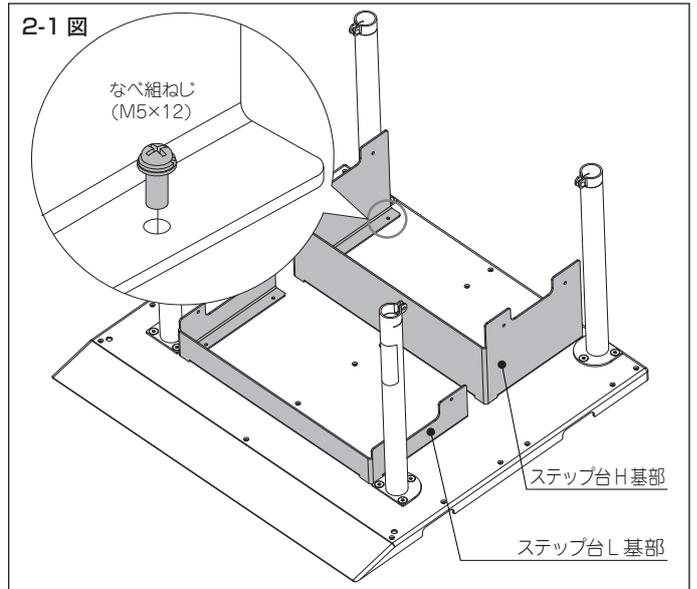
- ①まず4箇所全てのねじを、手で軽くまっすぐにねじ込み、仮止めをしてください。
- ②次に⊕ドライバーで手回しで増し締めしてください。



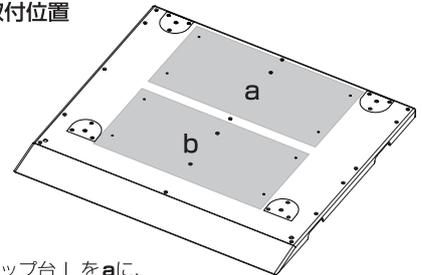
⚠ 注意



●電動工具 (電動ドライバー等) を使用しない。
過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。
(ねじの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け
取り外しができなくなる可能性があります)

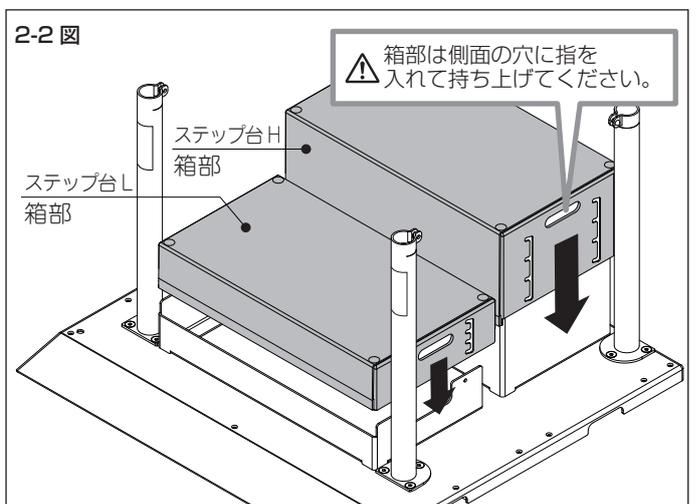


ステップ台の取付位置

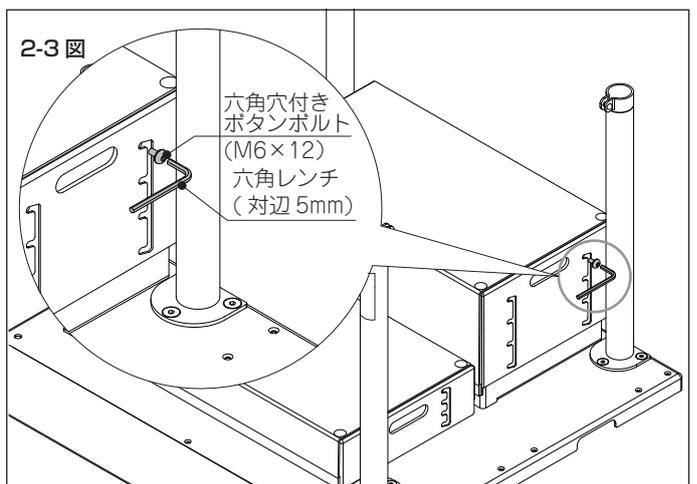


1 段の場合はステップ台 L を a に、
2 段の場合はステップ台 H を a に、L を b に取り付けてください。

2-2. 図のような向きで箱部を基部にかぶせてください。

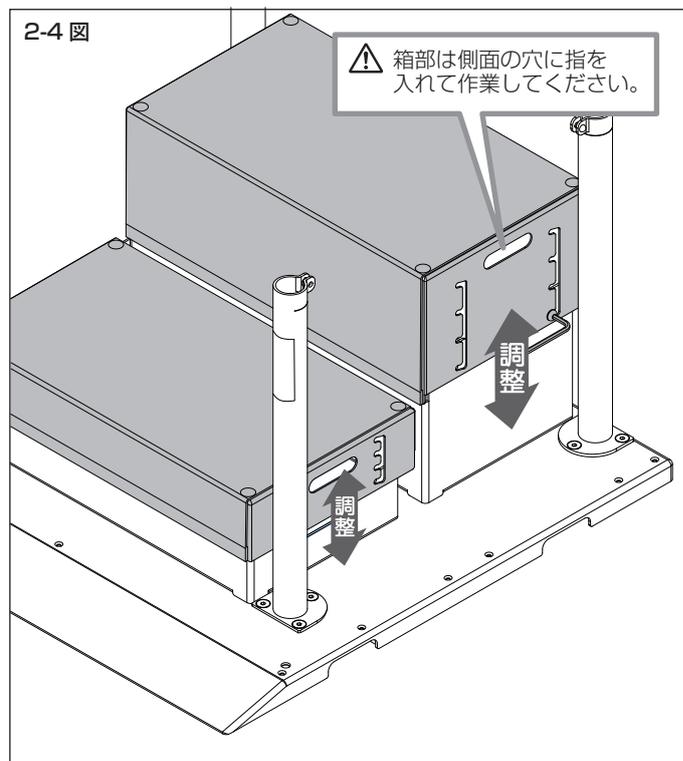


2-3. 箱部の側面へ六角穴付きボタンプルト (M6×12) を取り付け、ねじを半分程度まで回し込んでください。



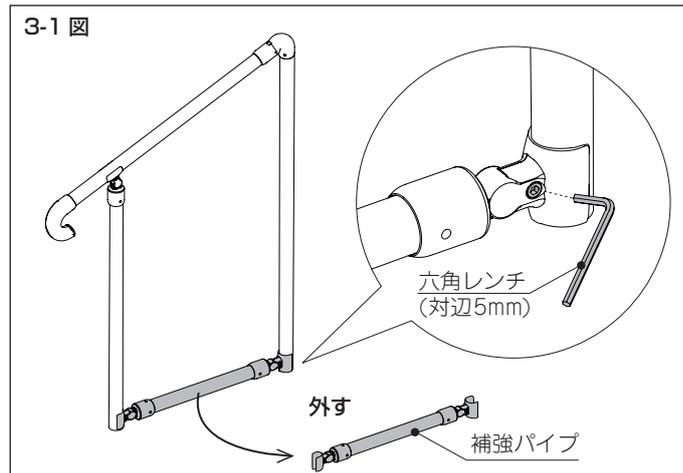
- 2-4. 箱部の高さを調整し、六角レンチ (対辺 5mm) で六角穴付きボタンスクリュー (M6 × 12) を締め付けてください。締め付けトルクは、 $5.2\text{N} \cdot \text{m}$ [$53\text{kgf} \cdot \text{cm}$] です。箱部を手前に引いた状態で箱部の高さ調整ができます。

ステップ台の高さは P.10 ~ 11 の「ステップ台高さ設定の目安」を参考に調整してください。

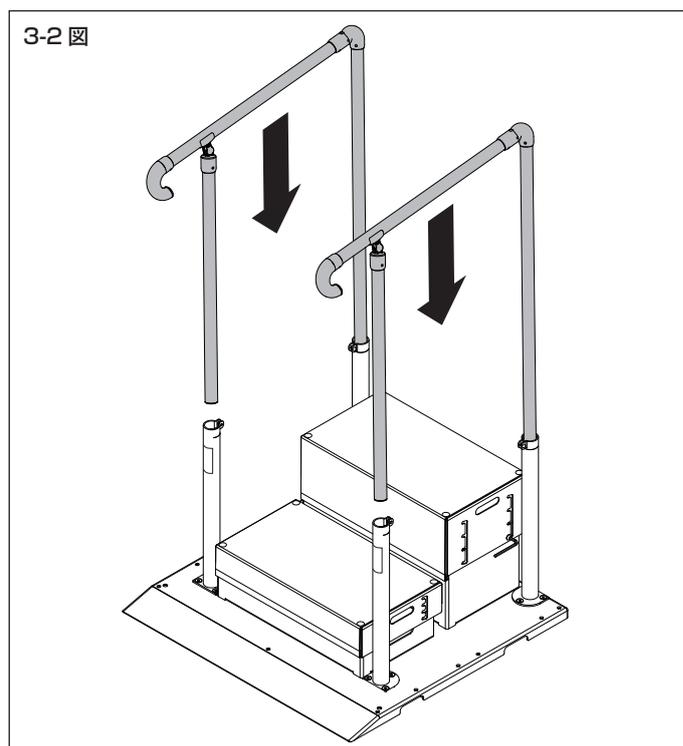


3. 手すりフレームの取付け

- 3-1 フレームに付いている補強パイプを六角レンチ (対辺 5mm) で外します。



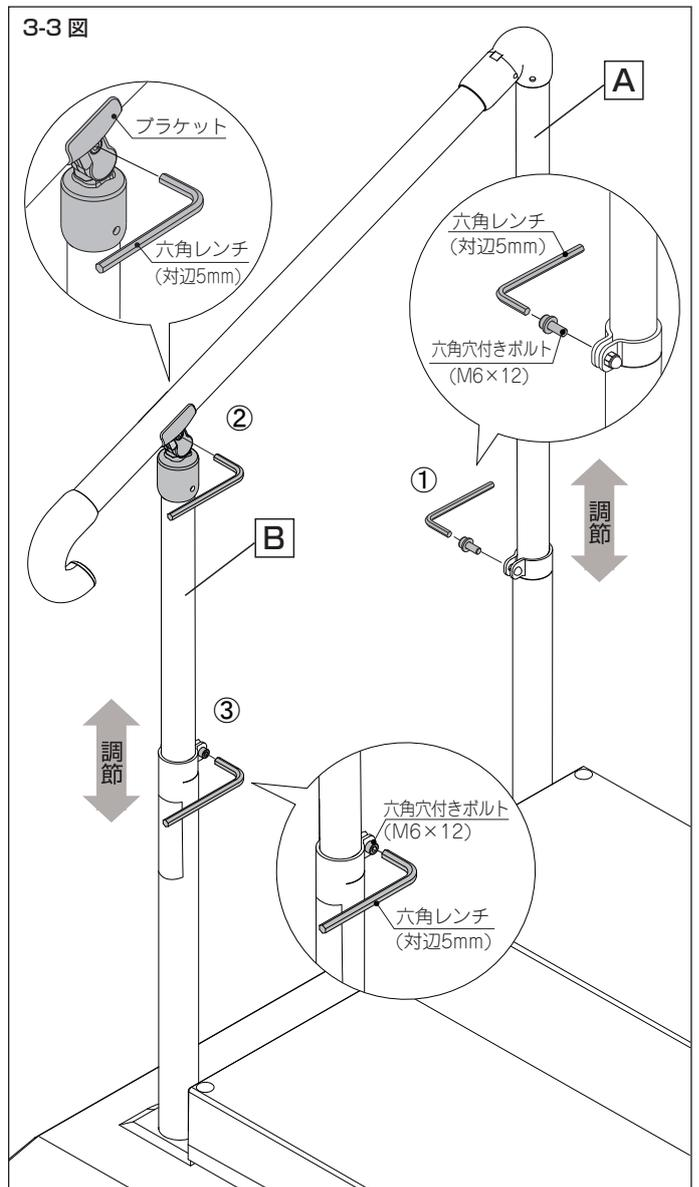
- 3-2 「1. スタンドの取付け」で取り付けしたスタンドにフレームを差し込みます。



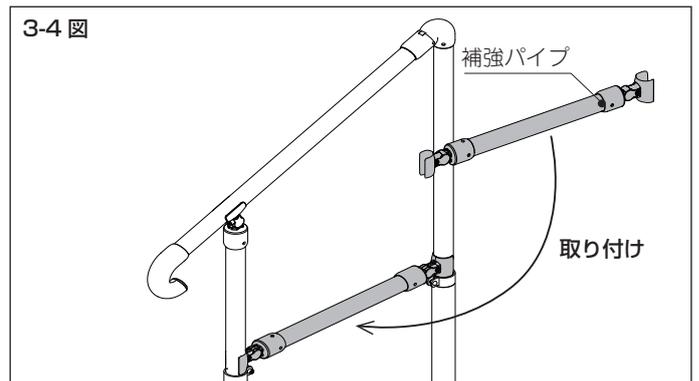
3-3. 手すりフレームの高さを調整します。

高さ調整手順

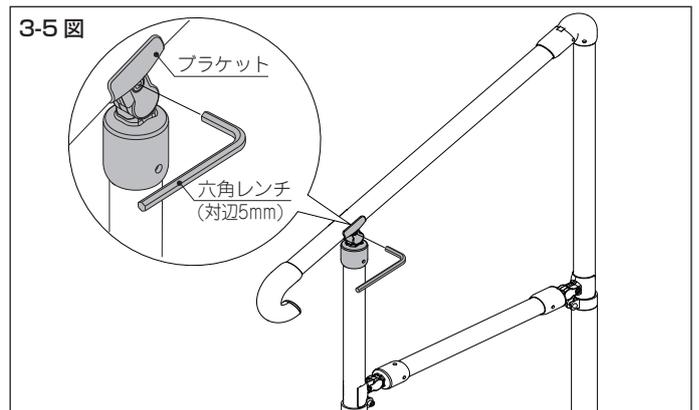
- ①奥側の手すりパイプ A の高さを調整し、六角レンチ (対辺 5mm) で締め付けます。
締め付けトルクは $7.84\text{N} \cdot \text{m}\{80\text{kgf} \cdot \text{cm}\}$ です。
- ②手前側の手すりパイプ B のブラケットを六角レンチ (対辺 5mm) でゆるめて、角度が変更できるようにします。
製品の傷つきを防止するため、ブラケット受け部よりパイプが浮いた状態になるまでゆるめてください。
- ③ B の高さを調整し、六角レンチ (対辺 5mm) で締め付けます。
締め付けトルクは $7.84\text{N} \cdot \text{m}\{80\text{kgf} \cdot \text{cm}\}$ です。



- 3-4. 取り外した補強パイプを六角レンチ (対辺 5mm) で取り付けます。
スタンドに当たるようにパイプの一番下に取り付けてください。
締め付けトルクは $7.84\text{N} \cdot \text{m}\{80\text{kgf} \cdot \text{cm}\}$ です。

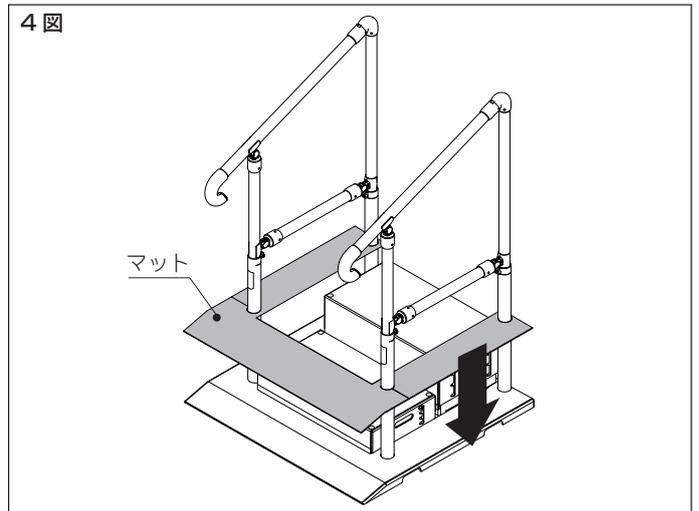


- 3-5 高さ調整の際にゆるめたブラケットを締め付けます。
締め付けトルクは $7.84\text{N} \cdot \text{m}\{80\text{kgf} \cdot \text{cm}\}$ です。
この時手すり部分のシュリンク包装を外してください。
カッターを使用すると傷がつくことがありますので、手で外してください。



4. マットの取付け

たちあつぷの仕様にに応じてマットをミシン目に沿ってカッターで切り取り、(P.9 マット切取位置図 参照)、ベースに取り付けてください。



▼ マット切取位置図

—— (太線) 直線で切ってください

● (丸) 丸く切り取ってください

▨ (斜線) 切り取ってください

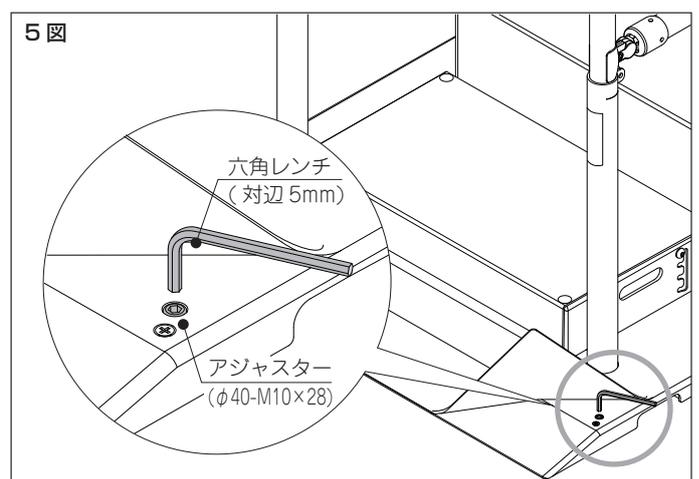
<p>①片手すり・ステップ台なし</p> <p>手すりの仕様に合わせて黒丸2箇所と太線2箇所を切り取ってください。</p>	<p>②両手すり・ステップ台なし</p> <p>黒丸4箇所と太線4箇所を切り取ってください。</p>
<p>③片手すり・ステップ台1段</p> <p>手すりの仕様に合わせて黒丸2箇所と太線2箇所、斜線部分を切り取ってください。</p>	<p>④両手すり・ステップ台1段</p> <p>黒丸4箇所と太線4箇所、斜線部分を切り取ってください。</p>
<p>⑤片手すり・ステップ台2段</p> <p>手すりの仕様に合わせて黒丸2箇所と太線2箇所、斜線部分を切り取ってください。</p>	<p>⑥両手すり・ステップ台2段</p> <p>黒丸4箇所と太線4箇所、斜線部分を切り取ってください。</p>

5. 最終確認

ねじのゆるみ、手すりフレームやベースのガタつきなど不具合がないかご確認ください。

ベースのガタつきは、マットをめくり、ベース前方の左右2箇所にあるアジャスター(φ40-M10×28)を六角レンチ(対辺5mm)で調整してください。

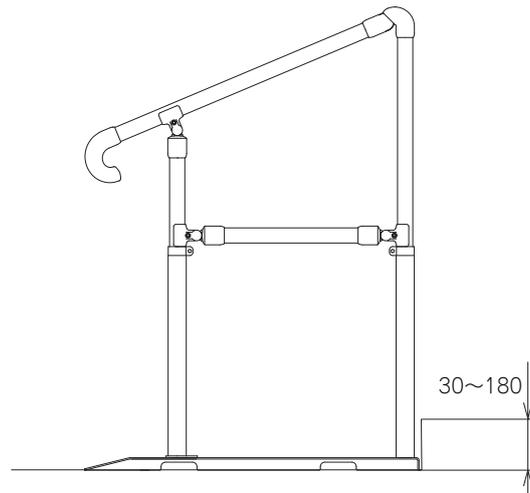
△ 注意	
! 必ず守る	<p>●ねじのゆるみ、手すりのガタつきなど不具合がないか確認する。 事故やケガの原因になります。</p>



ステップ台高さ設定の目安

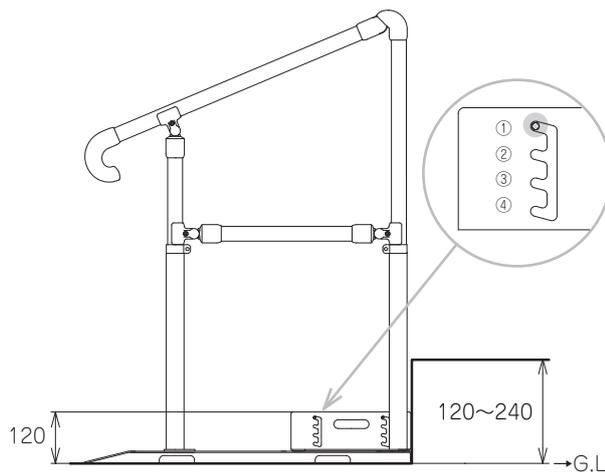
ステップ台なし(段差の高さ:30~180mmに対応)

段差の高さ:30~180mmに対応
ステップ台なし

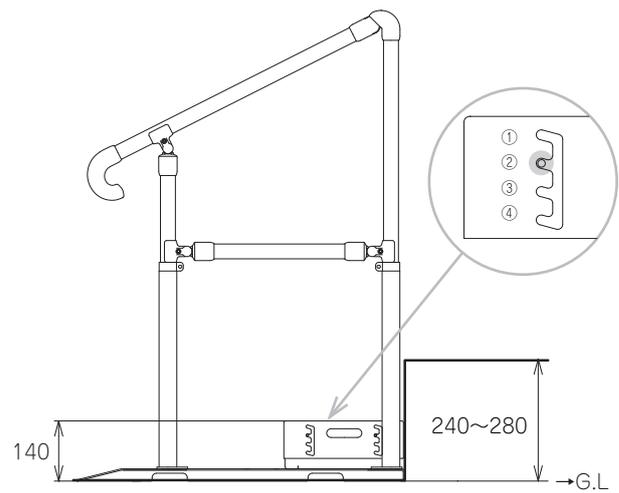


ステップ台1段(段差の高さ:120~360mmに対応)

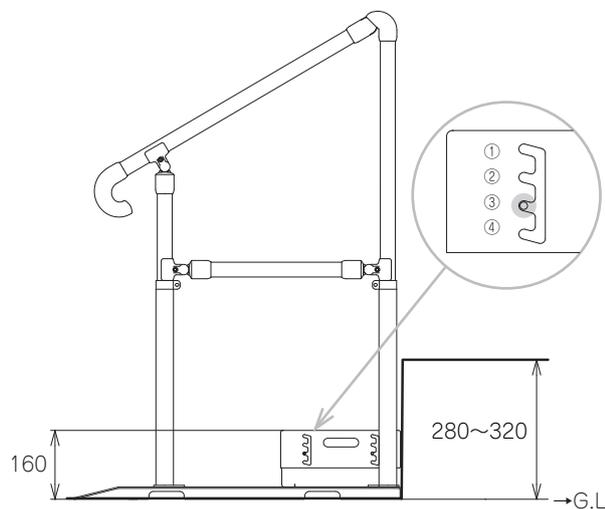
① 段差の高さ:120~240mmに対応
ステップ台高さ:120mm(ボルト位置:①)



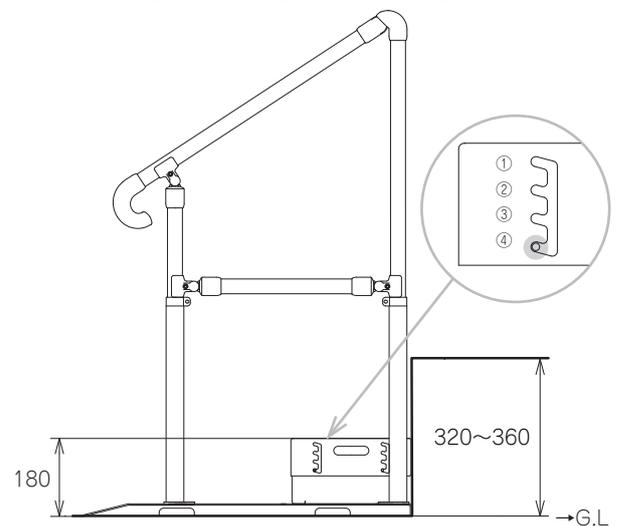
② 段差の高さ:240~280mmに対応
ステップ台高さ:140mm(ボルト位置:②)



③ 段差の高さ:280~320mmに対応
ステップ台高さ:160mm(ボルト位置:③)

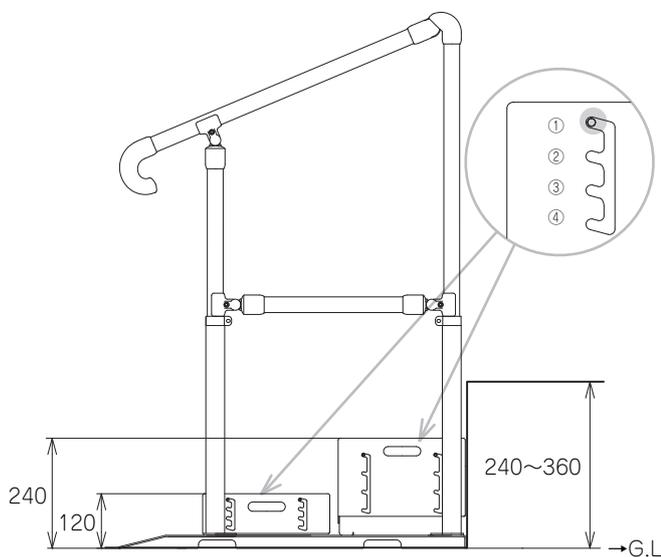


④ 段差の高さ:320~360mmに対応
ステップ台高さ:180mm(ボルト位置:④)

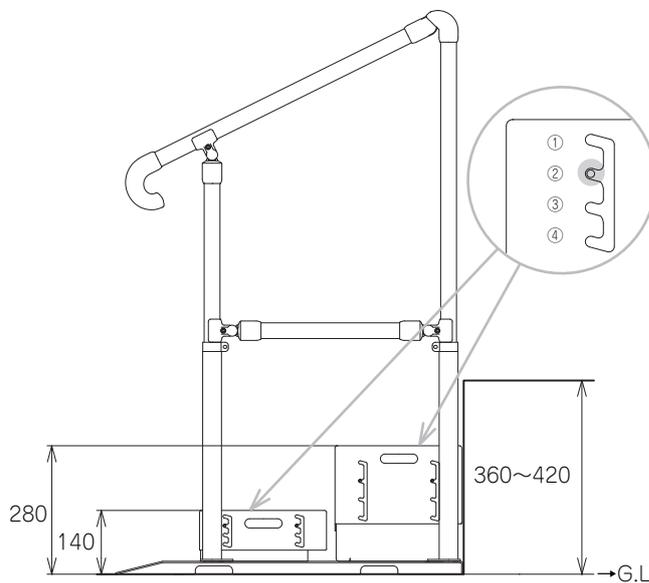


ステップ台2段(段差の高さ:240~540mmに対応)

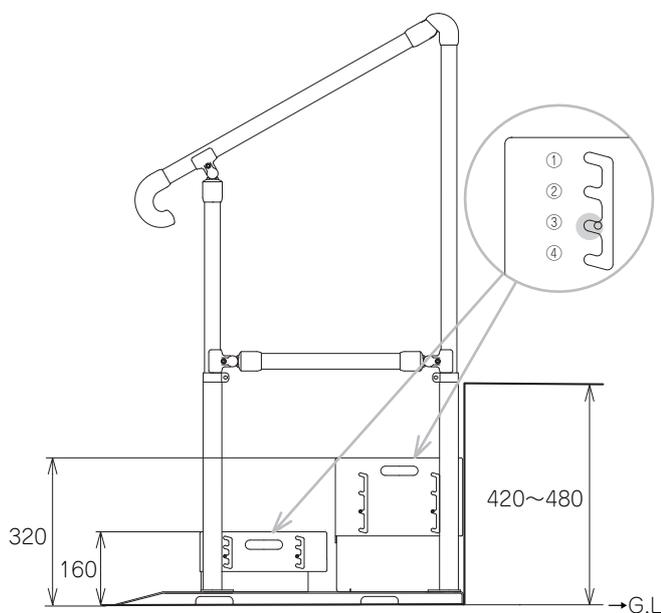
- ① 段差の高さ:240~360mmに対応
 ステップ台高さ:ステップ台L→120mm(ボルト位置:①)
 ステップ台H→240mm(ボルト位置:①)



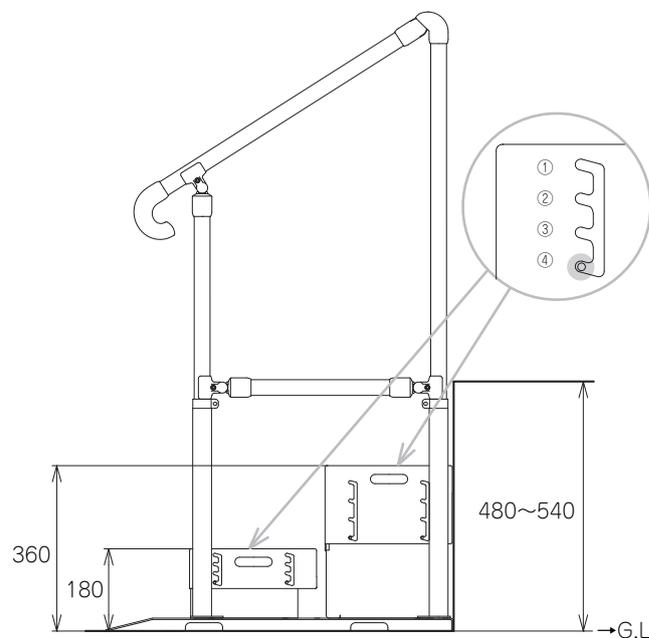
- ② 段差の高さ:360~420mmに対応
 ステップ台高さ:ステップ台L→140mm(ボルト位置:②)
 ステップ台H→280mm(ボルト位置:②)



- ③ 段差の高さ:420~480mmに対応
 ステップ台高さ:ステップ台L→160mm(ボルト位置:③)
 ステップ台H→320mm(ボルト位置:③)



- ④ 段差の高さ:480~540mmに対応
 ステップ台高さ:ステップ台L→180mm(ボルト位置:④)
 ステップ台H→360mm(ボルト位置:④)



8. お手入れ方法

8-1. 日常のお手入れ

- 水か中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭いてください。

⚠ 注意	
 禁止	● シンナー・ベンジンなどは使用しない。 変質するおそれがあります。
	● たわしや磨き粉で磨かない。 傷がつくおそれがあります。

8-2. 点検

- 定期的に点検を行ない、ガタつき・ねじのゆるみ・締め忘れや破損・マットのめくれ・その他異常がないことを確認してください。

⚠ 注意	
 必ず守る	● 定期的にガタつき・ねじのゆるみ・締め忘れ・部品の破損・マットのめくれ・その他異常がないことを確認する。 異常があった場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へご相談ください。

8-3. 消毒方法

- 消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。
- アルコール清拭消毒、逆性石鹼清拭消毒などを推奨します。
- この製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。
- 塩素系の消毒液を使用する場合は、使用する消毒液の使用方法及び使用上の注意に従い、希釈して使用してください。
(参考：次亜塩素酸ナトリウム 6%水溶液なら 120 倍～300 倍程度に希釈)

⚠ 注意	
 禁止	● オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

● 矢崎化工株式会社

■ 本 社 〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1

■ 北海道支店 福祉介護機器課
〒072-0007 北海道美唄市東 6 条北 8-2-1
TEL 0126(63)4285 FAX 0126(63)4459

■ 神奈川支店 福祉介護機器課
〒257-0024 神奈川県秦野市名古木 3-4
TEL 0463(81)4315 FAX 0463(81)4316

■ 広島支店 福祉介護機器課
〒738-0042 広島県廿日市市地御前 1-7-17
TEL 0829(36)1111 FAX 0829(36)3890

■ 仙台支店 福祉介護機器課
〒981-1223 宮城県名取市下余田字中荷 280
TEL 022(382)2145 FAX 022(382)1099

■ 静岡支店 福祉介護機器課
〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1
TEL 054(286)1101 FAX 054(286)3988

■ 高松支店 福祉介護機器課
〒761-8058 香川県高松市勅使町 227
TEL 087(866)6411 FAX 087(867)1916

介護支援ページ
kaigo-web
<http://www.kaigo-web.info/>

■ 関東支店 福祉介護機器課
〒373-0823 群馬県太田市西矢島町 88
TEL 0276(38)1511 FAX 0276(38)3522

■ 名古屋支店 福祉介護機器課
〒484-0963 愛知県犬山市字鶴池 48-2
TEL 0568(67)0111 FAX 0568(67)7219

■ 九州支店
〒820-0702 福岡県飯塚市平塚 481-1
TEL 0948(72)0310 FAX 0948(72)4026

■ 東京支店 福祉介護機器課
〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田 1-38-3
TEL 04(2944)7113 FAX 04(2944)7007

■ 大阪支店 福祉介護機器課
〒569-8551 大阪府高槻市大塚町 5-1-1
TEL 072(672)8440 FAX 072(673)8822

13111811

DW-190-03